



2022年9月28日

各位

会社名 株式会社デコルテ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 小林 健一郎
(コード番号：7372 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部ゼネラル・マネージャー 新井 賢二
(TEL. 0797-38-3692)

株式会社ミクシィとの資本業務提携に関する基本契約書の締結、当社株式の売出し並びに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ

当社は、2022年9月28日開催の取締役会において、株式会社ミクシィ（以下「ミクシィ」）との間で資本業務提携に関する基本契約書（以下「本資本業務提携基本契約書」といい、本資本業務提携基本契約書に基づく資本業務提携を「本資本業務提携」といいます。）を締結することについて決議し、同日付で締結いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社は、本資本業務提携に関連して、当社の主要株主である筆頭株主の投資事業有限責任組合キャス・キャピタル・ファンド六号（以下「キャス・キャピタル・ファンド六号」）から、キャス・キャピタル・ファンド六号が保有する当社普通株式のうち 1,532,400 株をミクシィへ譲渡すること（以下「本株式譲渡」といいます。）について合意がなされた旨の通知を受けました。本株式譲渡は株式の売出し（以下「本売出し」といいます。）に該当いたしますので、お知らせいたします。

併せて、本売出しに伴い、当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動が見込まれますので、お知らせいたします。

I. 本資本業務提携の概要

1. 本資本業務提携の経緯と目的

【当社グループの事業展開】

当社グループは、創業当時より「Happiness」「Beauty」「Wellness」の三つのテーマを実現するサービスを提供することを理念とし、フォトウエディングとアニバーサリーフォトを展開するスタジオ事業を主力事業として成長を続けてまいりました。

特にフォトウエディングサービスにおいては、高度な専門技術を持ったフォトグラファーやメイクアップアーティスト等のプロフェッショナル人材を自社で雇用・育成し、クオリティの高い写真と特別な撮影体験を提供する、フォトウエディング業界のリーディングカンパニーとして市場の拡大を推し進めてまいりました。

また、フォトウエディングで培った高水準の技術へのこだわり、顧客の思い出に残る撮影体験を提供するサービススキル、人材育成のノウハウ等を活用し、子供を中心とした家族にアニバーサリーフォトサービスを提供する「HAPISTA」や成人式写真の「NALU」など、結婚以外のライフイベントにも事業領域を広げ、顧客の様々なライフイベントにおける撮影機会を提供し、顧客のライフタイムバリューを向上させていく取組も進めています。

当社グループは、今後も市場の成長が見込まれるフォトウエディング市場においてさらなるシェア向上を目指すだけでなく、高度なフォト技術をコアにしつつ、いつまでも残したい「写真」と、心に残る「感動体験」をリアルなサービスで提供し、様々なライフステージでの「思い出づくり」の場を提供する「ライフフォトカンパニー」への成長を目指し事業展開を進めています。

【事業面における当社グループの課題】

当社グループは、「ライフフォトカンパニー」への成長に向けて、フォトウエディングで獲得した顧客＝新しい家族に引き続き「感動体験をリアルなサービスで提供する場」を創出すること、顧客との「接点」を保ち続けることが、取り組むべき重要な課題であると認識しています。2022年9月期から開示している中期経営計画においては、感動体験を提供する場として、アニバーサリーフォ

トの「HAPISTA」の多店舗展開を決定、2022年9月期において新たに2店舗を出店し、2023年9月期以降においてさらに出店ペースを加速していくことを計画しています。

一方、顧客との「接点」を保ち続けることに関しては、当社の顧客管理システムの強化が必要であることに加えて、ウエディングの顧客の特性として、基本的にリピート利用が無いため顧客の転居や連絡先の変更等のアップデートが困難であること、また結婚の次の大きなライフイベントとなる「出産」までに一定の間隔が生じるケースが多いこと等、ウエディングの顧客をそのままアニバーサリーフォトへ誘導するためには解決すべき課題があると認識しています。

【資本政策面における当社の課題】

当社の筆頭株主であるキャス・キャピタル・ファンド六号は、当社普通株式を1,685,400株（発行済株式総数の29.72%）保有しています。キャス・キャピタル・ファンド六号は当社の上場の際にいわゆるロックアップ期間を2022年6月16日までと設定していたことから、当社はキャス・キャピタル・ファンド六号との間でロックアップ解除後の当該保有株式の取扱いについて協議を継続してまいりました。

キャス・キャピタル・ファンド六号は、プライベート・エクイティ・ファンドであることの特質上、将来的に当該保有株式を売却せざるを得ませんが、当社との間では、売却に際しては市場環境に配慮しつつ、当社の企業価値向上に寄与することが想定される候補先を選定し譲渡することを優先する、との方向性を確認していました。

【本資本業務提携に至る経緯と目的】

上記のような課題を認識する中、当社はキャス・キャピタル・ファンド六号より資本業務提携の候補先としてミクシィを紹介されました。

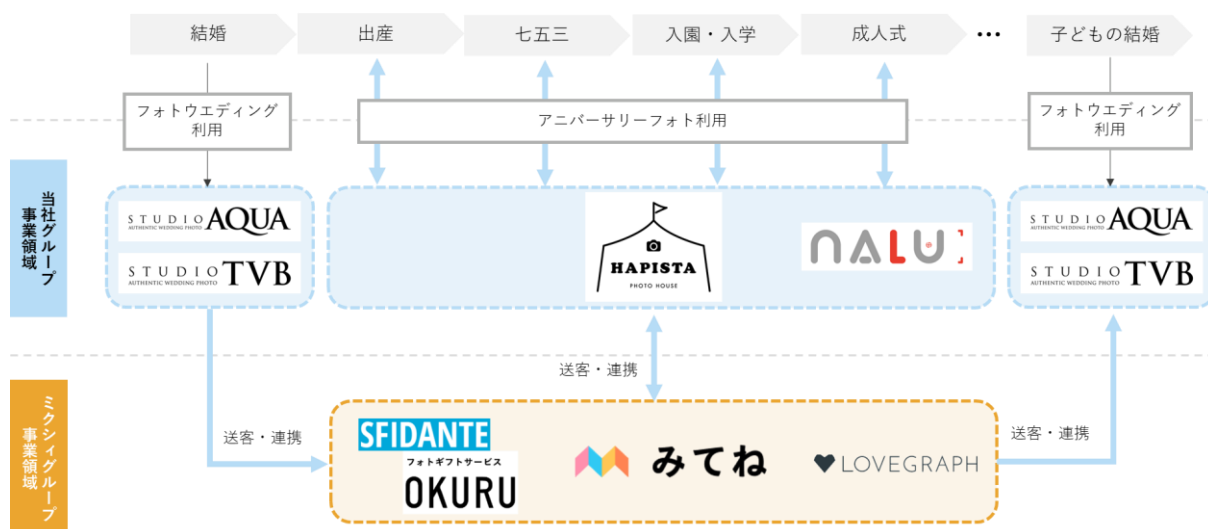
ミクシィのライフスタイルセグメントは拡大を続けており、子どもの写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」（以下「みてね」といいます。）は、2022年8月末日時点で国内外のユーザー数が1,500万人を突破いたしました。

「みてね」、フォトプリント・フォトギフトサービスを運営するミクシィ連結子会社「スフィダнте」をはじめとしたミクシィのライフスタイルセグメントにおけるサービスのユーザー層は、当社の運営する「HAPISTA」の顧客層と一致します。ミクシィのサービスを通じて「HAPISTA」の認知度を高め、ユーザーの撮影ニーズを捉えたサービスを提供していくことで、当社にとっては非常に強力な集客チャネルが増えることとなります。また顧客との接点も増加し、リピート利用やアルバム作成などのきっかけづくりに繋がるものと考えています。

将来的には年間2万組を超える当社のフォトウエディングの顧客をミクシィのサービスへ誘導し、家族の起点となる「結婚」から始まり、「出産」「七五三」「入学」「成人式」と続く様々なライフイベントでの撮影機会を継続的に顧客に提供することで、上記の事業面における当社の課題を解決することができれば、当社が目指す「ライフフォトカンパニー」に向けた、大きな一歩になると考えています。

以上より当社は、ミクシィとの協議を進める中で、本資本業務提携が上記の事業面並びに資本政策面における当社グループの課題を解決しつつ、当社の企業価値増大に寄与するものと判断しました。

<業務提携イメージ図>



2. 本資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

①取組み内容

- ・両当事者それぞれが保有する経営資源を相互に活用することによる、それぞれのサービスの拡充及び新規事業の検討・開発
- ・両当事者が共同して行う新業態（既存又は新規店舗を活用するものを含む。）への投資、並びに、新業態の企画、開発及び運営
- ・両当事者それぞれの強みを活かしたユーザー体験の向上及びマーケティングの推進
- ・その他当社グループ及びミクシィが別途合意する事項

②役割分担

【当社グループの役割】

- ・当社グループの店舗における、ミクシィグループの提供するサービスとのコラボレーションの実施
- ・マーケティング強化におけるミクシィグループとの連携
- ・ミクシィグループが提供する新規サービスの導入
- ・その他当社グループ及びミクシィが別途合意する事項

【ミクシィの役割】

- ・ミクシィグループの提供する各種サービスにおいて当社グループの宣伝等を行うことによる、ミクシィグループの顧客・ユーザーに対する当社グループの店舗への誘引
- ・マーケティング、イベント企画支援
- ・新規事業の検討及び提案
- ・その他当社グループ及びミクシィが別途合意する事項

(2) 資本提携の内容

①ミクシィによる当社普通株式の取得

本株式譲渡により、キャス・キャピタル・ファンド六号が保有する当社株式 1,685,400 株のうち、1,532,400 株（2022 年 9 月 28 日時点の発行済株式総数に対する比率 27.03%）を、市場外の相対取引によりミクシィが取得する予定です。詳細は「II. 株式の売出し」をご参照ください。

3. 提携の相手方の概要

ミクシィの概要

(1) 名称	株式会社ミクシィ			
(2) 代表者	代表取締役社長 木村 弘毅			
(3) 本店所在地	東京都渋谷区渋谷 2-24-12 渋谷スクランブルスクエア 36F			
(4) 事業内容	デジタルエンターテインメント事業、スポーツ事業、ライフスタイル事業、投資事業			
(5) 資本金(2022年3月31日現在)	9,698 百万円			
(6) 設立年月日	1999 年 6 月			
(7) 大株主および持株比率 (2022年3月31日現在)	笠原 健治(45.49%)			
(8) 当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 直近3年間の連結経営成績及び連結財政状況				
	決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
純 資 産	(百万円)	181,305	189,590	186,056
総 資 産	(百万円)	202,814	226,356	218,056
1 株 当 たり 純 資 産	(円)	2,390.52	2,497.55	2,524.13
売 上 高	(百万円)	112,171	119,319	118,099
営 業 利 益	(百万円)	17,147	22,928	16,069
経 常 利 益	(百万円)	16,915	23,019	17,026
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	(百万円)	10,760	15,692	10,262
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	(円)	142.80	208.24	139.85
1 株 当 たり 配 当 金	(円)	110.00	110.00	110.00

4. 資本業務提携の日程

取締役会の決議日	2022年9月28日
本資本業務提携契約の締結日	2022年9月28日
本資本業務提携の開始日	2022年9月28日

5. 今後の見通し

今後の見通しについては、後記「III. 主要株主である筆頭株主の異動 6. 今後の見通し」をご参照ください。

II. 株式の売出し

1. 売出要領

(1) 売出株式の種類及び数	当社普通株式 1,532,400 株
(2) 売出価格	1株につき 1,217 円 売出価格については、売買当事者間における協議の上、決定されています。
(3) 売出価額の総額	1,864,930,800 円
(4) 売出株式の所有者及び売出株式数	投資事業有限責任組合キャス・キャピタル・ファンド六号 1,532,400 株
(5) 売出方法	投資事業有限責任組合キャス・キャピタル・ファンド六号による株式会社ミクシィに対する当社普通株式の譲渡
(6) 申込期間	2022年9月28日
(7) 受渡期日	2022年9月30日（予定）
(8) 申込証拠金	該当事項はありません。
(9) その他	上記各項について、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しています。

2. 売出しの目的

上記「I. 本資本業務提携の概要」に記載のとおり、本資本業務提携に伴い、ミクシィは、当社の主要株主である筆頭株主のキャス・キャピタル・ファンド六号との間で株式譲渡契約を締結し、同契約に基づき、当社普通株式 1,532,400 株を取得する予定であるため、関係法令の定める手続きとして、売出しによる譲渡を行うことを目的とするものであります。

III. 主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動

1. 異動予定年月日

2022年9月30日（予定）

2. 異動が生じる経緯

本株式譲渡の一環として、当社の主要株主である筆頭株主のキャス・キャピタル・ファンド六号からミクシィに 2022年9月30日付で当社株式を譲渡することにより、キャス・キャピタル・ファンド六号は主要株主である筆頭株主でなくなり、ミクシィは主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に該当することとなる予定です。

3. 異動する株主の概要

(1) 新たに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社となる株主の概要

ミクシィの概要については「I. 本資本業務提携の概要 3. 提携の相手方の概要」をご参照ください。

(2) 主要株主である筆頭株主でなくなる株主の概要

① 名称	投資事業有限責任組合キャス・キャピタル・ファンド六号
② 所在地	東京都千代田区一番町 2 番地
③ 業務執行組合員の名称	無限責任組合員 CCP 6 株式会社
④ 事業内容	投資業
⑤ 出資の総額	情報を入手していないため非開示

4. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数(所有株式数)及び総株主の議決権の数に対する割合

①新たに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社となる株主(株式会社ミクシィ)

	属性	議決権の数(議決権所有割合)			大株主の順位
		直接保有分	合算対象分	合計	
異動前 (2022年9月28日現在)	—	—	—	—	—
異動後	主要株主である 筆頭株主及び その他の関係会社	15,324個 (30.06%)	—	15,324個 (30.06%)	第1位

②主要株主である筆頭株主でなくなる株主(投資事業有限責任組合キャス・キャピタル・ファンド六号)

	属性	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合	大株主の順位
異動前 (2022年9月28日現在)	主要株主である 筆頭株主	16,854個 (1,685,400株)	33.06%	第1位
異動後	—	1,530個 (153,000株)	3.00%	第7位

(注)総株主の議決権の数に対する割合は、2022年8月31日現在の発行済み株式総数(5,670,000株)から議決権を有しない株式(571,939株)を控除して算出しています

5. 開示対象となる非上場の親会社等の変更の有無等
該当事項はありません。

6. 今後の見通し

本資本業務提携が当社の業績に与える影響については現在精査中であり、今後、人的な事項も含め公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

(参考) 当期連結業績予想(2021年12月16日公表分)及び前期連結実績

(百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
当期連結業績予想 (2022年9月期)	5,490	1,427	1,309	895
前期連結実績 (2021年9月期)	4,592	871	735	574